

## 第21回策定委員会開催概要及び議事録概要版

<b>件名</b>	第21回 奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会
<b>日時</b>	平成20年10月30日（木） 18：00～20：20
<b>場所</b>	奈良市人権啓発センター 3階大会議室
<b>出席者</b>	<b>委員</b> 今井範子、岡本志郎、片山信行、木内喜久子、阪本昌彦、佐藤真理、田中啓義、田中幹夫、坊忠一、三浦教次、元島満義、森住明弘、安田美紗子、山口裕司、吉岡正志、四元信義、渡邊信久
	<b>事務局</b> 岩井部長、仲参事、山下課長、堀内工場長、吉住課長、松本補佐、森嶋補佐、平木主任、深村主任
	<b>コンサル</b> 館田剛志、大木雄介
<b>記録作成者</b>	奈良市施設課
<b>配付資料</b>	資料44 第20回策定委員会開催概要及び議事録概要版（案） 資料45 ごみ焼却施設の候補地選定（案） 候補地区の比較表 （参考資料）・PFI概要説明 ・処理方式等の紹介
<b>会議内容</b>	
<p>開 会</p> <p>部長挨拶</p> <p>1. 議 事</p> <p>(1) 第20回策定委員会議事録概要版の確認</p> <p>(2) ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <p>(3) PFI概要説明等について</p> <p>(4) 今後の策定委員会開催日程などについて</p> <p>閉 会</p>	

	意見要約内容
事務局（森嶋）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本日は、奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会の第21回目の会合でございます。委員会開会に当たり、岩井環境清美部長よりご挨拶を申し上げます。</li> </ul>
事務局（岩井部長）	「部長挨拶」
事務局（森嶋）	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 出席状況ですが、委員総数21名の内13名のご出席を頂いており、本日の委員会は成立していることをご報告申し上げます。 尚、郡鴛委員長、國領委員、吉田委員には、ご欠席される旨の連絡を頂いております。進行は渡邊委員長代理にお願いしたいと思います。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第21回の奈良市ごみ焼却施設移転建設計画策定委員会を開催致します。資料の確認をお願いします。</li> </ul>
事務局（森嶋）	「資料確認」 当日配付資料、（参考資料）候補地区における経済効率面からの比較。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今日、資料45番が候補地選定の比較表と、参考資料（当日配付）でこれに関連するもの、参考資料でP F I と処理方式に関する資料があります。 お帰りの時には、資料45番を回収させて頂きたいと思うんですけど。委員の方々、この考え方に賛同して頂けますでしょうか。では、配ってください。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<p>（1）第20回策定委員会議事録概要版の確認（資料44）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 議事概要につきまして、事前に配付されているかと思いますが、何かお気づきの点がありましたでしょうか。事務局に何か連絡入っておりますか。</li> </ul>
事務局（森嶋）	● 現在のところ、特に頂いておりません。
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 特になかったら、この会議が終わった時点で、自動的に議事概要として認められたということで、先へ進みたいと思います。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<p>（2）ごみ焼却施設の候補地選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この候補地の選定比較表について、若干の修正と定量的な註釈を加えたということです。</li> </ul>
事務局（吉住）	<p>「ごみ焼却施設の候補地選定（案）候補地区の比較表」について説明（資料45）再度修正させて頂いた、主な変更内容についてのみご説明。</p> <p>1点目、生活面での評価において、他の市との境界に接している地区の条件で、考慮を要するという文章に改めた。</p> <p>2点目、生活環境の評価で、周辺に住宅地が存在していることにより、住宅地との間に緑地による緩衝帯を設ける必要があるという文章に変更。</p> <p>3点目、備考で、廃棄物処理場については、土壤汚染対策法等の適用を受ける地域であるという表現に改めた。</p> <p>経済効率面からの比較について、概要説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気・水道・下水道、インフラ整備の整備費を整理。</li> </ul>

	<p>現在は契約電力3,000kw、特別高圧、2回線受電で稼働、既設の変電所から線を引く費用を積算。発電等の条件は考慮せず。</p> <p>水道は、約100ミリ程度の配水管が必要として、工事費を積算。</p> <p>下水道の供給は、基本的に事業者負担。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>敷地造成費について積算。 <ul style="list-style-type: none"> <li>平坦な土地と傾斜した土地で、1㎡当りの概算費用を積算。</li> </ul> </li> <li>収集運搬コストを年間コストとして整理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>現在地との相対比率とコストの差額を増加費用とした。</li> </ul> </li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎回、細かい修正をするのも、効率が悪いので、ある程度まとめてから、修正に入りたいので、なるべくまとめて意見を言って頂きたいんですが。</li> </ul>
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 確認ですが、新しい場所に移るには、土地の収用費用がかかってくるんですね。入ってませんよね。そのお金が一番大きいと思うんですが、一番大事な費用の積算とか想定はいかがなさいます。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共用地で買う場合には、鑑定金額以下で買収となります。鑑定を取る費用がかかりますので、路線価がある場所は、⑤-1番だけです。その他は、大阪国税局の路線価は表示されてませんので、概算費用の積算が難しいので、今回は、それを入れてない資料を作成したということです。</li> </ul>
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私は、経済効率面からの比較の表を出して欲しいと申し上げて、ありがたかったと思います。比較表で、電気・水道・下水道・敷地造成を含めて、結局はお金の問題で、トータルで均らされて、総合計の費用から、50歩100歩という見方をしているんでしょうね。電気・水道・下水道・敷地造成に関しては、あまり考慮する要素はないと、結論はなっていくのかなと。買収費を参考資料で出して頂いたら、大差があるのか分かってくると思うんです。収集運搬コストが結局大きい気がしたんです。買収費用の概算を出して頂いて、最終的に経済の問題は一つの基準で、収斂できるのではないかと感想を持ちました。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 概算の土地の買収費用の一覧は、できないこともないと思うんですが、少し慎重になってもいいんじゃないかと、僕は思ってます。</li> </ul>
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 私の想像は収集運搬コストの方が大きい方にいく感じがするんですが、それを見ないと、何に重点を置いて、経済効率を考えるのか分からないのです。参考資料という限りにおいて、何らかを出して頂かないと。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 土地の買収の費用よりも、収集運搬コストの方が長い目で見たら、大きいのではないかということが、はっきりすればいいということですか。</li> </ul>
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● はっきりするんじゃないかという気がするんです。判断がこのままではできないので、是非ほしいと思います。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 買収の問題、かなり慎重ですが、それも大事ですから。ある程度調査はして頂いた方がいいかもしれませんが、路線価が一つしかない訳ですので、正確なものが、出るとも限らないので、慎重の方がいいのかなという気が致します。収集運搬コスト、相当大きな額ですよ。どういうもので増加が出てくるのか、</li> </ul>

渡邊委員長代理	その概要、内訳を説明して頂けませんか。
佐藤委員 事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 僕はこの一番右側の増加費用の列は削除するべきだと思ってます。現在の収集費用は、表の上の方に現在値、11億6,700万円と書いてあり、この数字と、③-4ですと、12億2,600万円かかります。この差で5,900万円の違いがあると読んだらいいと思います。この増加の分は、でこぼこがあるように見えるんですが、この相対比率1.05、1.04、1.17という数字の精度は、かなりふらつくものだと話が前からありました。相対比率を並べることはいいと思いますが、差額の分、相対比率の誤差を考えますと、大きい差を書く必要ないと考えてます。</li> <li>● 増加費用は分かりましたが、現在地の説明でもいいんですが、相当大きいので、その内訳はどういうことで、12億が出てるのが知りたいんです。</li> <li>● 人件費が一番高いと思います。後は収集車のガソリン、天然ガスとかの維持管理費と収集車の購入費とかの収集運搬業務にかかる費用を、全て含みますと、現在で11億6,700万。実際にはごみ処理原価という形で計算して、報告させて頂いてますが、約2割程高くなるということです。</li> </ul>
森住委員	<p>奈良市の人口重心にある都跡小学校の校区が、一番収集運搬コストが安くなります。現在の場所については、11億6,700万という費用になってますが、環境清美工場を左京小学校として積算して、金額が11億。それから向こうへ行きますと、距離が長くなるので、時間がかかるイコール、10人で済んだのが、12人必要になるので、人件費も燃料費もパッカー車の維持管理コストも上がってくるので、トータルが増加費用となると考えております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今の考え方だったら、金額出さない方がいいと思います。人件費も何もかも上がる計算ですけど、現実にはそうはならないと思います。上がるのは、ガソリン代だけと、素人なりに思います。現実の収集体制は、どこの市町村でも、8時間労働になってないでしょ。そういう現実を市民も知ってる訳です。新たに二人増えるという理屈は通らないですよ。</li> </ul>
コンサル(館田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計算のやり方は、一日、今4回行ってますと。距離が長くなると、3回しかできなくなりますということを、時間当たり、どれ位収集運搬かかるとか、距離はどれ位で想定してるとか、全部足し算して、距離で割り算で出してるんで、具体的に何人増えたという数字になってないですが、実態として、1台当たりの経費が増えてくる。集めれる総量が減って、距離が長くなると。そういう計算式でやってるので、単純にガソリン代だけという発想ではないんです。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 分かりますけどね、理屈の話で、現実には人が二人増えるかと言うたら、労働時間が長くなるだけと思う訳です。3回のところ4回行きますしても、8時間以内に収まる。そういう議論になるからね。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 増加費用の相対比率が、誤差を持つときに、これを書くのは、やめておいた方がいいと思います。</li> </ul>
元島委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この委員会は、新しい移転候補地を決める訳ですね。基本的に何が一番よくかかるかといえば造成費ですから、概算でもいいから、候補地を決めるのに一</li> </ul>

渡邊委員長代理	<p>番大事なものは、土地の費用に近いんじゃないか。まず土地の費用がいくらで、効率というのは次の問題で、大きなものが抜けてる気がするんです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 費目ごとの比較をするという意味において、元島委員の考え方は非常に大事であります。最初に造るときにかかる電気・上下水道・造成にかかる費用のほぼ同じ金額が、収集運搬コストでとんでいくと。収集運搬は一年当たりの数字ですから、すごく大きいんだという比較ができる訳です。土地ごとの比較をするのではなくて、費目ごとに比較をするという発想です。費目ごとの比較を、大雑把に検討つけるためにも、項目を挙げておくのが大事かと思います。</li> </ul>
佐藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 収集運搬コストが、相当大きいことが分かりますので、もう少し正確に知りたいなど。前回に配られた参考資料でごみ焼却施設の規模、将来ごみ量があるんですが、どれだけのごみを収集し、焼却していくのか。施設を確定するときに必要なことですが、減量化資源化を考慮した将来ごみ量、この程度の可燃ごみなどの減少でいいのかなど。直感的にそう思うんですけど、10年後であまり変わらない気がするので、もう少し思い切った、減量化を図って、収集運搬コストも削減を考える必要があるという気が致しますので。詳しく次回でも説明してください。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 収集運搬コスト減らすことに、皆さん初めて真剣になられて、僕うれしいんですけど、あと1点だけ。下水道で、L=何mを⑥-1に入れておくことと、合併浄化槽という表現だけじゃなくて、合併浄化槽及び工場排水の処理施設（特定施設）を、入れておいた方が将来無難かと思いますが。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場排水の特定施設は、どういう水処理するのか決まっていなくて、積算ができなかったんで、下水道に関連する汚水処理は、工場の作業員並びに見学者の人間の生活排水という主旨で書いており、特定処理施設工場の排水処理施設の費用は、9ヶ所について同一条件で比較評価に必要ないという主旨で、割愛した表現で整理しました。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● どこかに書いておいた方がいいかと思います。L=というのをに入れて。合併浄化槽という言葉は生活排水だけを見ていて、その全てに、工場排水の処理施設（特定施設）はつくんだという発想は確かに正しいのですが、この一番下のところにも、書けないですかね。</li> </ul>
コンサル(館田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 現段階は、プラント排水は外に出さない方式で試算はしましたというコメントを入れさせて頂いてよろしいですか。</li> </ul>
渡邊委員長代理 コンサル(館田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● それがあったらよろしいかと思います。</li> <li>● 最終的には決まった用地の中で、一番最適な効率を出せるのであれば、そちらの方を選択する可能性があると思いますので、現段階はそういうコメントを追記させて頂いて対応させて頂きたい。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料45の他市との市境界の論理ですけど、協議と調整と、今度考慮になってますけども、どれも曖昧で誤解を生む表現ですから、場所が隣接地域に決まってからでいいと思いますが、この表現が非常に難しいんですけど、もう少し工</li> </ul>

渡邊委員長代理 森住委員	夫した表現にしてもらった方がよろしいかと思ひます。
渡邊委員長代理 事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こんな言葉がいいという、ヒントを頂けるとうれひしいですが。</li> <li>● 具体的に、どういふ回答をもらってるとのか分かりませぬね。そこの説明してもらったら、もっと具体的に言えと思ひます。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 緩衝帯については具体的であると。</li> <li>● 委員の中から、「奈良市の方針を決めたら」といふお話しを頂き、県に要綱とか基準とか指導指針等があるか、現在調べてる途中です。「環境アセスには、基本的には、何mまで同意が必要かどうかは条件に入ってませぬ」といふ答えは頂いたんですが、煙でしたら、煙突の高さによって範囲が何キロといふレベルまで影響してくるので、具体的な内容の中で、対応させてもらいますと。まだ奈良市の考え方は整理できませんが、奈良県の指導基準、方針があれば、聞かせ頂いてペーパーにまとめ、京都府・木津川市にも行き、京都府の指導基準を整理し説明させて頂いて、検討頂けたらと思ひます。</li> <li>● 考慮といふ表現をそのまま残しておいて、それに註釈を付けておいて、もう少し周囲の状況と勘案して、具体的な内容を別紙で示すといふ形ですね。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<p>(3) P F I 概要説明等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● このあとはP F I の勉強会に入りたいと思ひます。ごみ処理関係ではP F I は、避けて通れなひので、他人事ではなくて、自分達に関係してると認識して頂きたいといふ僕の気持ちから、パシフィックコンサルタントに、説明して頂こうと。他のいろんな自治体を実際に経験されてるとかの方がはるかに詳しいので、僕も楽しみにしてあります。</li> </ul>
コンサル (館田) 渡邊委員長代理	<p>「P F I 概要説明」(参考資料)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● P F I だけじゃなくて、D B O、B O D、B T O、S P C、V F Mとかですね、アルファベットが3つ続きますね。新しい言葉が、いっぱい出てきまして、お互ひの理解を深めるために、何か質問をして。</li> </ul>
田中(啓)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● P F I の一般論として、民間の活力を導入するといふのは、分かるんですけど、廃棄物に関して効果的なのかと、素朴な疑問に思ひます。サービスや物の品質をよくすることで、利益を上げる場合だったら民間活力には意味があると思ひますが、サービス上げたからといつて、廃棄物が増えて、お金が儲かる訳ではなくて、廃棄物はこれから、少なくしていくといふ、国家的な方向がある訳ですね。民間活力がサービス上げることで、増えていく関係じゃなくて、国とか世界が下げる方向で動いてるとか、民間の活力を導入するよなもののかと非常に疑問に思ひました。</li> </ul>
コンサル (館田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● そこが問題になってまして、ごみの量に関して、お金の動きを面倒みないよと言った瞬間、今の形になっちゃう。事業をやつても、収入が減っていきます。会社として残っているところは、一定程度、お金が常にかかっている人件費、補</li> </ul>

	<p>修繕は、固定費という見方をしてあげる。実際に動かす薬剤とかは、変動費を見てあげる。二部料金制をとっているところが多いです。民間としては、会社としての存続はちゃんとしましょうと。処理として動いたお金に関しては、逆に収益として、多少減ってくるかもしれない。インセンティブとしては、大きい施設で発電の事業がある。効率よく電気を起こしたときに、そのお金もあげましょうとかをやって、事業としてうまく成り立たせるシステムをやってるのは実態です。</p> <p>民間が大きい借金をして、手を挙げてくるからには、利益がないと当然やってこないのは事実ですので、大きなリスク、ごみの変動は全部、民間が勝手にしょえという形にすると、誰も手を挙げてこないのが実態と思います。</p>
田中(幹)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 民間活力の導入という方針ですが、それは1990年代の終わり頃言われたと。非常に胡散臭いと僕は思ってたんです。P F I 事業で、その後どのような、実施がなされたか、うまくいったかのレポートが少ないんです。コンサルさんの方で、浜松の件でも、どういうふうになってるか、具体的にあったらお願いします。12頁の資料では、地域別で奈良はどうして0になってるんでしょうかね。</li> </ul>
コンサル (館田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この実施方針の公表は、法律に基づいて事業をやるぞと言って初めて公表するところなんです。それをやってるところが、奈良県内にはないのです。一步手前に来ている事業は、いっぱいあります。世の中に認知されてる状況にないというところです。実施方針の公表した段階で、内閣府のHPに、名前が出る。それで最終的なお金の検討をして、見合うか見合わないかで、この特定事業を選定しましたとあって、初めてスタートするのが実態なんですね。</li> </ul>
田中(幹)委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 僕の知りたいのは、実際にやってるところが、本当に民主的に、住民の意思を取り入れてやってるのか、そのバランスはどうなってるか。ある程度の利益を上げるとおっしゃってましたけれどね、企業は、ある程度の利益だけじゃ、我慢できないものを持ってるんです、体質的に。そこをどうやって調和してるのか、知りたいと思っています。</li> </ul> <p>実際、奈良市では、事業そのもので、地方自治体と、事業者との間で、P F I 契約でやってるんですよ。つまり、P F I を利用したというもんなんです。地方公共団体が、干渉するというので、行なわれたはずなんです。本当にきちっとした経過をどのような成果が上がっているかを、知らなければ、この件の議論はできないんじゃないかと思いますね。</p>
コンサル (館田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今ここに出している事業方式の導入状況は、世の中に公表して、P F I 法は手続論なんで、その手続に乗って、公表してやってる事業とが、今これ位の数が動いていると。廃棄物処理施設で破綻した事業は、今のとこない。破綻したと聞いているのが、A市の方で水泳場の温浴施設みたいなことをやったのが一つ。B県で病院でやったのが一つ。民間側が経営の審査を甘く見すぎて、公共側の評価が甘かったとあって破綻した例が一つ。病院を見ていくと、公共側が過大スペックで、大きい施設を造ったが、実際の病院に、用がそんなになかった</li> </ul>

	<p>たので、お金が払いきれなくなり、事業が破綻した例もあります。</p> <p>廃棄物処理施設では、プラントものが非常に多いので、事業で苦勞してるといよりも、処理方式で苦勞してるところがあります。C市の例でいきますと、建設ほぼ終わり、試運転をやってます。1月に竣工しますので、それ以後、運転管理に入っていく、最終の性能試験するところまでできているということで、15年間、実際に動いて評価した事例がまだないので、その結果、いいか悪いかの判断はないんですが、三多摩のエコセメントも関与させて頂きましたけど、運営4年目になってます。事業の方も何とかがんばりながら、見込みが甘くて苦勞したりとかしてはいますが、セメントも全量売れて、うまくいっている事業も、相当数あるというのは、実態ですね。</p> <p>ちゃんとした契約をいかに、最初に結ぶかが、問題になっているところではありまして、逆に公共がいかにチェックできてるかが、重要だということは、ご指摘の通りでございます。</p>
山口委員	<p>● 体育館かプールで、PFIの手法で建設されたのが、屋根が落ちて事故になった新聞記事を読んだことがあるんですが、施設の安全性とかの質の面は、PFIの手法の場合、契約で担保がされるのか心配が有ると思っております。</p> <p>前回、ごみ焼却施設で、PFI検討される時、最終的に採用しなかったと言われたと思うんですが、どんな理由で採用しなかったのかを、お聞かせ頂きたいなと思います。</p> <p>候補地を最終的にどこかに決めることになる訳ですが、その際には、その地域の住民の方とか近隣の人達も含めて、理解を得て用地を選定していくことになるんですけど、PFIでの建設の手法との関わりで、安全な操業だとか、公害を出さない運転管理だとかを含めた検討になっていくと思うんですけど、そのあたりについて教えて欲しい。</p>
コンサル（館田）	<p>● D市のプールはうちの会社で、事業者選定までやってたのが実態です。PFI当初の関係です。D市と我々は、事業所選ぶところまで、我々の会社はおつきあいさせて頂いたんですが、建設するときに、どう考えるか一つあります。契約上、民間に任せたからいいじゃない。民間の中にも工事監理が入っているから、いいじゃないとか言って、動いていったと。プールは、屋根落ちたりとか、公共で造ったのも実際はあるんですけど、起きたというのが事実です。施工不良があったと報告は、我々も受けてます。自治体によって、考え方が違い、C市は、我々の会社の人間が、工事監理をなささいということで、3人位現場に張り付いてると。事業者の工事を随時チェックしてるような、自治体の考え方になってくるとは思いますが、品質管理を今まで通りやっていくのかどうか、民間に丸投げするのは、契約書の作り込みの段階で、どちらを選ぶのかは、出てくるというのが。たまたま事故起きたから、いいのか悪いのかは、別な論議として有りますね。</p> <p>2つ目の質問で、私の関わった件で、だめだった例でいくと、直営の職員</p>



<p>渡邊委員長代理</p>	<p>がいらっしやると。その方達がPFIでやった時に、どこに配置しましょうと、市と他の事業で簡単に、事業で手が足りなくて困ってるというのも、あるはずもなく。PFIをやって単体の事業で安くなるけど、このコストが宙ぶらりんになるので、無理だという議論になった例はございます。その他にも優先順位のつけ方、安定・安全を誰がどう責任をとるのかを、対住民に説明していく中では、出てくるのかなと。PFIがいいか、悪いかという論の前に、施設整備方針を、絞られてきた段階では決めていく必要があるのかなと。それで優先順位ですね、お金がないから、コストが一番だというのか、安定・安全に住民に迷惑かけない施設を造ろうとかいった議論というのが、今後、この委員会では大事になってくるのかなと。対地元の説明していく中で、そういう議論は、出てくると考えてます。</p> <p>● 公共を信用することができないという社会的状況は、かなりできあがっております。民間が悪くて公共が正しいというのは、幻想であり、社会的状況からみて正しくないです。</p> <p>私が以前関わった焼却とリサイクルの施設をどうするかで、費用的にVFMも出るので、PFI的な方法がいいのではと話もありましたが、安心・安全というよりは、安定して操業する。途中でSPCは逃げ出さないこと。焼却炉を3つも4つも持てれば、1つ位止まっても構わないんです。他で何とか燃やせばいいんですが、80万人いるところで、1つしかない大きな焼却炉で突然、SPCが破綻したら、どうしようもないので、安定操業のためには公共でやらざるを得ないと。リサイクル施設は、リサイクルできなくなっても、全部燃やしたら済むので、PFI的な方法にしようとなりました。</p> <p>公共だから安心できるとか、民間だから信用ならんとか、公害防止のためには、是非とも公共でという話は、委員から出ましたが、私が反対しまして、一番信用できないのは公共にチェックされる公共であると。法律では、公共性善説、民間性悪説に作られてるのが多いんですが、現在は、社会的状況から、非常に不信感をかかってますが、安定操業ということで焼却施設については、公共でという話しにはなりました。余った人をどこへ持っていくんだという話はあったんですけども、どこでも同じような状況かと思えます。</p> <p>公務員だから間違いはないということではなくて、質のいい悪いというのは、そんなところで決めることではないと、皆さんに意識して頂きたいと思えます。</p>
<p>コンサル（館田）</p>	<p>● 他の事例として、そこは処分場とリサイクルと焼却の3つの施設を出来上がったときに、公表して、契約書と要求水準の基にやるということで、3社、手を挙げてきて、競争性が働いて、200億近い当初予算があって、それを180位にといったのが、150位になったのが結論だったんですけど。今も監視も厳しくやられてますので、一長一短なんです。競合性を働かせてやることは、ある程度できる。技術が必要なところもありますので、そこを握られると、そのメーカーしかできないというところを、DBOとかPFIという施設建設と運営</p>

<p>渡邊委員長代理</p>	<p>を一体に出すことで、最初に競争させたらというのが、大きい考え方とご理解して頂ければいいと。造ってから、単年単年でやっても、ここはうちしかできませんという話が出てきたりすることはあります。普通の車のエンジンのパーツで、トヨタのエンジンを日産が、中身取り変えられるかという、部品は手に入るけどと、似ているとご理解して頂ければなと思います。</p> <p>● 監視と責任ですね。誰が責任を取るのか持つのかといった話も、とても重要になります。リスクに対する対応とか、全部公共でやったらいいかという、そのお金を払う体力も市町村にはあまりないと、少しでも安い方という流れで、にっちもさっちもいかない状況かと思います。</p> <p>監視・責任ですが、こういう事業をするに当っては、色々な状況を考えて、他の自治体のことも調べて、コンサルタントの方のいろんな事例もお聞きして、整理し進めたらいいと今日実感して頂いたらよかったと思っています。</p> <p>焼却炉の絵がいくつかありますが、スラグのどこだけ僕も気になってまして、熔融スラグの利用状況その1、その2というところ。実は熔融スラグとって、熔融したら有価物になるという話しになってるんですけども、この一覧表からすると、スラグ用途で、埋め立てが結構多くて、売却なのに埋め立てとか書いてあったりとか。この状況は現在も大きな変化はないんです。急に引き合いが多くなって、スラグがみんな売れて、皆が幸せに使うようになったということはないでしょ。</p>
<p>コンサル (大木)</p>	<p>● こちらの表には、今年度、関東近辺の市町村で、アンケートをとらせて頂いて、ご回答頂いてる内容で、現状の状況ととらえて頂ければと思います。</p>
<p>渡邊委員長代理</p>	<p>● 貴重な資料かと思います。後は熔融状況で、全量と一部というのがございますが、これは、一部というのは、熔融炉あるんですけど、灰が年間に5万トン出て、そのうち5,000トン熔融しているところが本当にあるんですよ。</p> <p>何かこれ位は説明しておかないとというのが有りましたら。</p>
<p>コンサル (大木)</p>	<p>「処理方式等の説明」(参考資料)</p>
<p>コンサル (館田)</p>	<p>● 単純に表を見るとできてないと思われるんですが、自治体によっては、予備の炉は持たないで、補修修繕やってる期間、セメント工場にもってくるルートがあるとかやってるんです。本来交代の予備炉で全量を熔融しましょうというふうに造っていく。最終処分場を持ってない自治体とか、そういう検討をするところが多いと思うんですが、近隣にセメント工場があって、焼却灰を受け入れてくれると。どっちが高いか検討をしながら。熔融炉は一個しか持たなくて、熔融炉が動いているうちは熔融炉で溶かしましょう。熔融炉は高温でやり傷みとか激しいので、一ヶ月位補修修繕する期間に、セメント工場に持っていきましようと考えてる自治体もあります。</p> <p>ガス化熔融炉で、ごみを一気に溶かす技術も最近出てきてます。シャフト炉で、コークスと一緒にごみを入れて、下の方から酸素を入れることで、蒸し焼きをしたガスは、燃焼炉で燃やしちゃうと。残った灰分は、コークスの高温</p>

	<p>で溶かすことをやっている。シャフト炉方式は、コークスを使うことで、温度が高いので、出てきたスラグは、石灰石も入れて、流動性上げたりやっていますので、品質のいいものが出来てるので、全量処理できているスラグが、非常に多ございます。</p> <p>いいスラグができるのとスラグの品質がよくないものとありますので、安定的に稼働しているのかどうかを含めての検討が、土地決まったあとの話しとして出てくるのかなど。施設整備方針で、どれを優先順位つけるかによって、どの炉がいいかが、変わってきます。通常のごみを燃やすのに比べ、シャフト炉だと、コークスや石灰石を足したりするので、お金は若干かかりますよとか、設備としては、割と簡単で安定に動きますよとか、そういう検討は、土地が決まったあとには出てくると認識はしています。</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 悩むところがいっぱいあるということですね。森住先生、道路の部会のことについて、現在の状況、お話し頂ければ幸いです。</li> </ul>
森住委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 8月以降、2回やりまして、4つの道路について、4車線が可能かどうかについては、ほぼ調査が終わりました。4車線化が非常に難しい場合の対策も考えて、交差点を部分的に改良することで、渋滞を少なくする方法もありますので、その両面から検討をほぼ終わらして、文章化している段階でございます。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次回は12月の終わり頃ですが、応募について話をする訳ですけども、全体を通して何か、ご指摘頂くこと何かございますでしょうか。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資料45の比較表で、修正させて頂きましたけれども、他にもご意見あるのかなと思うんです。精度を高めていきたいので、11月の20日までに、ご意見を集約し、一覧表を整理して、委員会で検討を頂き、精度の高い比較表にしたいと考えますが、諮って頂けたら、ありがたいです。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次回、12月の何日に集まって、そこで言うのは遅いんですね。今日の話、漏れのないように、書面で送ってくる訳ですか。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 例えば11月20日までにご意見があれば、質問事項も併せて、ご回答をお願いしたいという形で、意見を求める対応をさせて頂いたと思うんです。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● そういう手続き踏んだ方がいいですね。11月20日がいいですか。この会議終わってすぐに、少し修正をして、皆様のお手元にお送りすれば。あまり期間長くしても、忘れてしまいますから。11月20日に締め切りということで。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今の主旨も含めて文章でお送りさせて頂いて、ご意見頂くような対応したいと思います。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 参考資料も一緒にやるんですか。数字の入ってるほうも。</li> </ul>
事務局(吉住)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● もし他にご意見があれば、意見の整理だけはしたいと思いますので。</li> </ul>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 12月20日何日かまでには、終えておいてないといけないので。</li> </ul>
	<p>(4) 今後の策定委員会開催日程などについて</p>
渡邊委員長代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次の日程ですが、12月26日で、その次を決めなきゃいけないんですかね。1</li> </ul>

<p>事務局（仲） 渡邊委員長代理</p> <p>事務局(森嶋)</p>	<p>月、2月。議会とかの関係で、いつ位がいいんですかね。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 議会は3月で、2月は予算の委員会がありますけれども、決めて頂いたら。</li> <li>● 12はどうですか。12の木曜日ですが。2月12日を次の次ということで。次回は12月26日（金）でありまして、その次が2月12日と。特になかったら、これで終わりたいかと思いますが。</li> <li>● 最初の方に、お話がございましたように、資料の回収を只今からさせていただきますので、傍聴人の方につきましては、自席で職員の方にお渡し頂きますようお願い申し上げます。</li> </ul> <p>皆様方には、長時間に渡り、ご審議を頂き、誠にありがとうございました。尚、次回策定委員会は12月26日の開催でございます。本日はこれを持ちまして閉会とさせていただきます。</p>
--	--